

第 34 回宮城母性衛生学会学術集会
第 17 回宮城県委託周産期医療研修会

プログラム・抄録集

平成 26 年 2 月 9 日 (日)

9 : 30 ~ 17 : 30

良陵会館 2 階ホール

仙台市青葉区広瀬町 3-3 4 TEL 022-227-2721

平成 26 年 2 月 9 日 (日)

9 : 30 ~ 17 : 00

艮陵会館 2 階ホール
仙台市青葉区広瀬町 3-3 4 022-227-2721

9 : 30 ~ 9 : 35	理事長挨拶
9 : 40 ~ 12 : 00	一般講演
9 : 40 ~ 10 : 40	第 1 群
10 : 50 ~ 12 : 10	第 2 群
12 : 10 ~ 12 : 50	昼食・休憩
12 : 50 ~ 13 : 00	総会
13 : 00 ~ 13 : 05	会長挨拶
13 : 05 ~ 14 : 05	特別講演
14 : 10 ~ 15 : 00	教育講演
15 : 10 ~ 17 : 20	パネルディスカッション
17 : 25	閉会挨拶
17 : 30	閉会

理事長 佐藤 喜根子 (東北大学医学系研究科保健学専攻)
会長 佐々木 淳 (宮城県保健福祉部次長)

事務局 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻周産期看護学分野
宮城母性衛生学会学術集会事務局 佐藤 祥子
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL 022-717-7957
E-mail:sachikos@med.tohoku.ac.jp

受付開始 9:00～
理事長挨拶 9:30～

一般講演 9:40～12:10 (○印 演者 発表7分 討論3分)

★第1群 (9:40～10:40)

座長 東北大学病院 倉片 三千代
東北公済病院 高橋 有希

1. A病院における産後1ヶ月間の褥婦の不安について
仙台赤十字病院
○ 伊深 千枝
2. 父親の母親学級参加が産後一ヶ月の母親の育児ストレスに与える影響
仙台赤十字病院
○ 三浦 里美
3. 夫の自己効力感が高まる参加型マタニティクラスの受講時期について
仙台市立病院 周産部
○ 秋田 沙希 田上晶子 菅生智子
4. 父親役割獲得に向けたきっかけ作り～両親学級を開催して～
光ヶ丘スペルマン病院Ⅲ病棟
○ 今野 歩実 川村三春 伊藤智恵子
小荒井琴美 佐藤雪路
5. 入院中の父親への育児指導の効果
～母親の満足度・育児不安の観点から～
国家公務員共済組合連合会東北公済病院母子センター
○ 窪田 知子
6. 塩竈地区母子保健推進ネットワークの活動報告
～助産師子育てクラブの活動から～
塩竈地区母子保健推進ネットワーク
○高森志津江 青山幸恵 押切良子 笠松愛子
加藤智子 川村友紀 高津真理子 千葉佳子

休憩

★第2群 (10:50~12:10)

座長 東北大学病院 西堀 翔子
仙台赤十字病院 山田 陽子

7. NICUにおける退院支援の現状と課題

—NICU看護師と地域保健師への意識調査の比較から—

1)東北大学病院西6階病棟

2)東北大学医学系研究科周産期看護学分野

- 山崎満美子¹⁾ 加藤早奈恵¹⁾ 榛澤麻衣¹⁾ 渡辺かほり¹⁾
渡邊裕美子¹⁾ 坂村佐知¹⁾ 片倉睦¹⁾ 佐藤祥子²⁾

8. 自分スタイルのお産を導くパースプランの取り組み

桂高森S・Sレディースクリニック

- 佐々木美幸 小原久美子 石田志津
笹口千春 佐藤美子 佐竹真知子
西城幸子 千坂 泰 山川洋光

9. 青年海外協力隊の活動を通して見えた開発途上国の周産期の現状

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 母子医療センター

- 吉川 いづみ 佐藤秀子

10. 乳頭トラブル時のラップ療法の効果の検討

～褥婦へのアンケート調査を実施して～

公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院

- 渡辺 早苗

11. BFH認定施設勤務看護師の意識調査

仙台市立病院 周産部

- 遠藤 晃子 菅生智子

12. 人工乳補足の現状と母乳育児支援の見直し

大崎市民病院

- 佐藤 祥子 及川一美 阿部衣代

13. 胎児疾患を告知された母親の妊娠期における母乳育児の意識と支援の検討

地方独立行政法人 宮城県立こども病院 産科病棟

- 齋藤空美子 澤口千華子 横関菜々子

14. 産後デイケアについてA助産院の取り組み

とも子助産院

- 山田円 佐藤由美子 伊藤朋子

昼食・休憩 12:10~12:50

総会 12:50~13:00
会長挨拶 13:00~

宮城県保健福祉部次長（技術担当） 佐々木 淳

特別講演 13:05~14:05
座長

東北大学大学院医学系研究科周産期看護学分野 佐藤喜根子

産後女性による子ども虐待・子殺し—現状と予防について—

東京都立松沢病院 精神科医長 田口 寿子

教育講演 14:10~15:00
座長

宮城県保健福祉部次長（技術担当） 佐々木 淳

母子保健と医療連携について
～母親のメンタルヘルスと産後うつ病の早期支援に向けて～

宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長 高田 美和子

パネルディスカッション 15:10~17:20

「思春期健康教育をめぐる現状と課題」

コーディネータ 東北福祉大学総合福祉学部社会教育学科 教授 数見 隆生

- ① 行政の立場から 「子育て支援を応援する県民運動について」
宮城県子育て支援課子育て政策専門監 大橋 るい子
- ② 養護教諭の立場から 「学校現場における思春期教育」
宮城思春期保健指導研究会 代表 北村 志津枝
- ③ 保健師の立場から 「くりはら思春期健康教育事業（ピアワーク教室）を実践して」
宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所
母子・障害班 後藤 沙織
- ④ 医師の立場から 「性の健康を創る医療現場からの試み」
村口きよ女性クリニック院長 村口 喜代

指定討論者

- ① 助産師の立場から 「助産師活動の現場から」 宮城県助産師会 田村 雪子
- ② 福祉の立場から 「婦人保護の現場から」 コスモスハウス施設長 渡部 秀樹

閉会の挨拶 17:25
閉会 17:30